

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立加納西小学校

校長名 馬淵 勝弘

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	○自分の考えを話したい、仲間の考えを聞きたいと思える授業を工夫し、「対話」による深い学びができるようにする。 ○調べ学習以外でのタブレット端末の活用、ロイロノートの活用を図る。	A	○授業の進め方を工夫したことで、約70%の児童が、話し合い活動で考えを深めたり広げたりできたと感じている。 ○ロイロノートを活用し、児童が自分の考えを深めることができた。約85%の児童が授業でタブレットをよく活用していると感じている。	○これからは探求学習がメインになっていく。自分から知りたい、学びたいが大事にされている。 ○学習へのモチベーションを高めて、取り組めることが大事だと思う。 ○英語の授業に楽しそうに取り組んでいてよい。	○引き続き、児童が意欲的に学び、力を伸ばせるよう、授業の内容や進め方を充実させていく。 ○研修を取り入れながら、効果的にICTを活用できるようにしていく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	○ぎふMIRAI'sの学習の充実を図り、地域の方から学ぶことで、地域のことを知ったり、自分の生き方について考えるきっかけにしたりできるようにする。 ○地域の方に見守り活動や行事等に参加していただき、児童が地域の方と関わる機会をもてるようにする。	A	○ぎふMIRAI'sの指導計画を見直し、授業の充実を図った。子供たちが、地域の方から多くのことを学び、多くの児童が加納西地域の良さを実感することができた。 ○地域の方の登下校の見守りや給食配膳支援等のおかげで、子供たちが安心して生活することができた。	○子供たちが、「たてわり地域探検」がとても楽しかったと話していた。地域で活動すればするほど、地域のが好きになっていくので、続けてほしい。 ○見守り等で、地域の方に支えていただけてとてもありがたい。	○ぎふMIRAI'sの学習を通して、地域のことを学び、発信できるようにしていく。 ○地域の方の協力を得ながら、共に児童を育てる活動を工夫していく。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	○互いに相談しあえる雰囲気作りに努める。 ○必然と計画性のある職員研修を位置づけ、不祥事根絶と危機管理意識の向上を図る。	A	○教職員で連携を図り、相談したり助け合ったりすることができた。 ○教員が交代に講師となるミニ研修を毎週、行ったことで、校務分掌に関することやそれぞれの得意分野の話を聞くことができ、指導に生かすことができた。	○温かい雰囲気の中で、子供たちを育ててもらっている。	○引き続き、職員間の連携を大切にしていく。 ○学年体制を見直すなどして、組織的な動きができるようにしていく。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	○子供たちが安心して、安全に生活できるよう、職員で情報共有を図り、適切な指導ができるようにする。 ○方法を工夫して「命を守る訓練」を行い、児童の、自分の命を自分で守る意識を高める。また、職員の研修を行い、万が一、災害が起こった際に、適切な対応ができるようにする。	B	○安心・安全な給食を提供できるよう、特に、アレルギー対応では、ダブルチェックをするなどして取り組んだ。 ○消防署の方を招いて職員研修を行ったことで、初期消火の方法等、災害が起こった時の適切な対応を学ぶことができた。さらに職員の意識の向上を図るとよい。	○大きな事故なく、子供たちが過ごせて、感謝している。	○「命を守る訓練」の充実を図れるように考えていく。自ら考えて、自分の命、子供の命を守れるように、特に教職員の意識を高めていく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	○整理整頓を心掛け、児童が安全に学校生活を送れる環境を整える。 ○資源を有効活用し、教育環境を整えるとともに、適正な財務管理を行う。	A	○事務職員と連携し、必要な物を適切に購入することで、教育活動の充実を図った。 ○特に、環境について見直し、より安全な環境を整えることができた。 ○チェック体制をつくり、各種会計が適切に行われるようにした。	○校外学習が多く、地域をめぐるなど、子供たちが生き生きと学習している。学校での学習も大事だが、知らない大人と接するなかで学んでいくこともたくさんある。様々な学習の環境が整えられている。	○引き続き、充実した教育環境や適正な財務管理が行えるよう努力する。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/kanounishi-e/>